

令和2年度 第1回

地域包括支援に関する会議

## 資料 5

5 議事

(5) 高齢者の権利擁護の推進について



# 1 養護者による高齢者虐待の状況

令和元年度の通報・届出件数及び虐待と認定した件数は、平成30年度と同等数あり、引き続き増加傾向にある。被虐待高齢者から見た虐待者の続柄は、「息子」が35人（31%）と最も多く、次いで「娘」28人（25%）、「夫」26人（23%）であり、同居する養護者による虐待が89%を占めている。

		法施行年度				
		平成18年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
通報・届出 件数 (実数)		136	187	216	206	
通報者(重複有)	介護支援専門員・事業所職員	53 (39%)	95 (51%)	100 (46%)	90 (44%)	
	近隣住民	14 (10%)	6 (3%)	8 (4%)	4 (2%)	
	民生委員	32 (24%)	9 (5%)	9 (4%)	9 (4%)	
	被虐待者本人	12 (9%)	18 (10%)	10 (5%)	20 (10%)	
	家族・親族	12 (9%)	15 (8%)	22 (10%)	24 (12%)	
	虐待者自身	0 (0%)	5 (3%)	4 (2%)	0 (0%)	
	行政職員・警察	10 (7%)	30 (16%)	56 (26%)	52 (25%)	
	その他	20 (15%)	9 (5%)	7 (3%)	7 (3%)	
	計	153	187	216	206	
事実確認の際に立入調査をした件数		1	0	2	0	
虐待と認定した件数		98	99	117	108	
虐待の種類(重複有)	身体的虐待	45 (46%)	69 (70%)	87 (74%)	75 (69%)	
	介護・世話の放棄・放任	39 (40%)	23 (23%)	26 (22%)	22 (20%)	
	心理的虐待	24 (24%)	32 (32%)	39 (33%)	42 (39%)	
	性的虐待	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	
	経済的虐待	34 (35%)	14 (14%)	24 (21%)	17 (16%)	
	計	142	138	177	156	
被虐待者の情報	性別	男	16 (16%)	22 (22%)	22 (19%)	20 (19%)
		女	82 (84%)	79 (80%)	97 (83%)	89 (82%)
	年齢	65歳～69歳	11 (11%)	5 (5%)	8 (7%)	9 (8%)
		70歳～79歳	40 (41%)	41 (41%)	36 (31%)	28 (26%)
		80歳～89歳	39 (40%)	43 (43%)	56 (48%)	54 (50%)
		90歳以上	8 (8%)	12 (12%)	19 (16%)	18 (17%)
		不明	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	介護認定情報	自立・未申請	30 (31%)	22 (22%)	29 (25%)	24 (22%)
		要介護認定済みのもの	68 (69%)	77 (78%)	90 (77%)	85 (79%)
		要介護度				
		要支援1・2	9 (9%)	7 (7%)	14 (12%)	9 (8%)
要介護1～3		44 (45%)	63 (64%)	64 (55%)	67 (62%)	
要介護4・5		13 (13%)	7 (7%)	12 (10%)	9 (8%)	
認知症度						
不明	2 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		
自立・I	17 (17%)	14 (14%)	30 (26%)	18 (17%)		
II以上	44 (45%)	59 (60%)	60 (51%)	67 (62%)		
不明	7 (7%)	4 (4%)	0 (0%)	0 (0%)		
同居	養護者と同居	79 (81%)	84 (85%)	103 (88%)	96 (89%)	
	養護者と別居(不明含む)	19 (19%)	17 (17%)	16 (14%)	13 (12%)	
虐待者(重複有)	夫	14 (12%)	23 (22%)	32 (24%)	26 (23%)	
	妻	6 (5%)	10 (10%)	9 (7%)	5 (4%)	
	息子	48 (42%)	44 (42%)	37 (28%)	35 (31%)	
	娘	18 (16%)	19 (18%)	30 (23%)	28 (25%)	
	息子の配偶者	7 (6%)	3 (3%)	4 (3%)	2 (2%)	
	娘の配偶者	3 (3%)	1 (1%)	2 (2%)	1 (1%)	
	兄弟姉妹	2 (2%)	1 (1%)	5 (4%)	4 (4%)	
	孫	6 (5%)	2 (2%)	4 (3%)	2 (2%)	
	その他	10 (9%)	1 (1%)	9 (7%)	9 (8%)	
計	114	104	132	112		

(参考) 養護者による高齢者の虐待(区別)

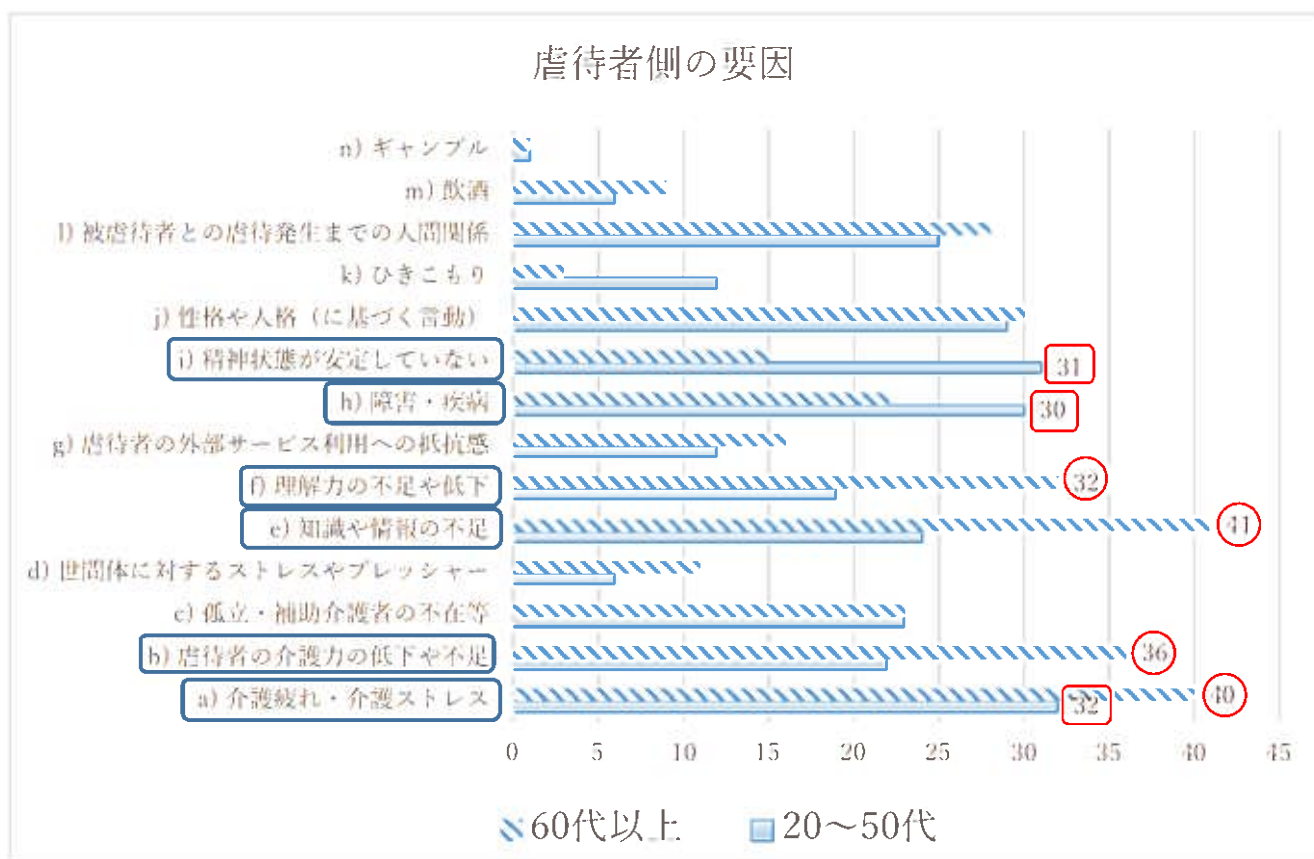
	H29		H30		R1	
	通報・届出件数	虐待認定件数	通報・届出件数	虐待認定件数	通報・届出件数	虐待認定件数
門司区	27	10	33	16	42	16
小倉北区	47	14	37	21	34	20
小倉南区	38	28	44	34	39	26
若松区	15	10	20	11	28	18
八幡東区	28	21	20	16	16	15
八幡西区	24	11	47	14	34	9
戸畑区	8	5	15	5	13	4
北九州市	187	99	216	117	206	108

## 2 虐待者側の年代別 発生要因分析

### (1) 虐待者側の要因

虐待者側の全年代共通して、「介護疲れ、介護ストレス」によって、虐待に至るケースが多くみられた。

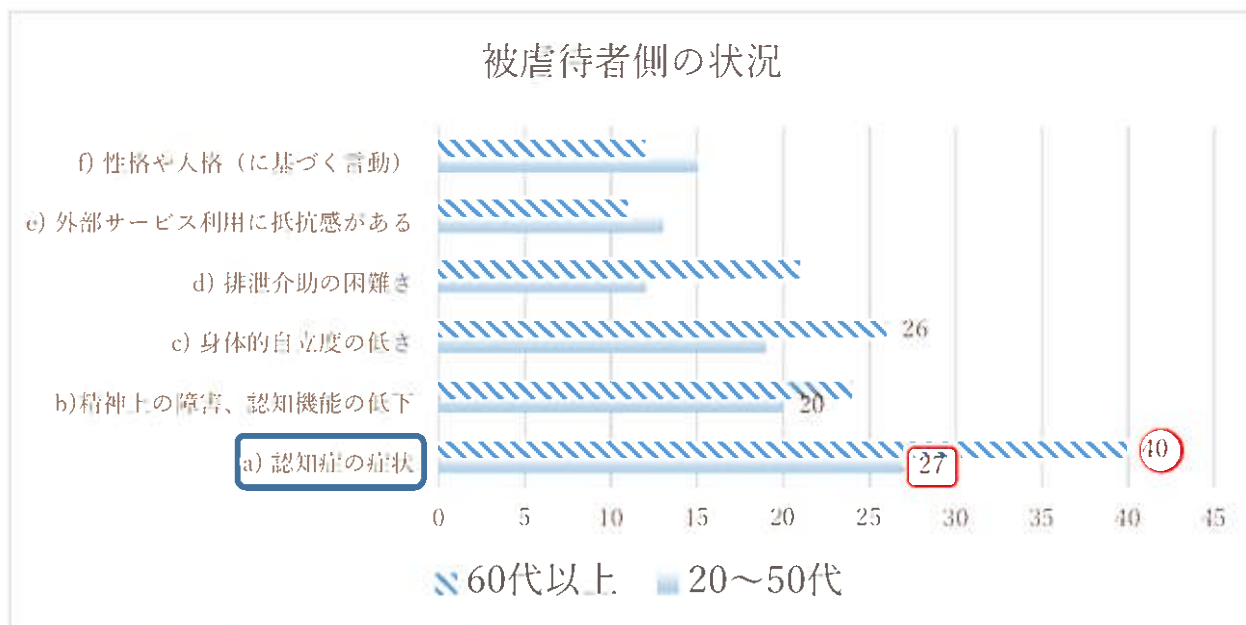
20～50代と60代以上で比較し、60代以上で最も多い要因は「知識や情報の不足」であったが、20～50代については、「精神状態が安定していない」「障害・疾病」が、全世代共通して見られた要因である「介護疲れ、介護ストレス」と同等程度の要因となっており、虐待者側の年代によって発生要因に違いがみられる。



※調査対象年度に虐待と認定した事例の集計

## (2) 被虐待者側の状況

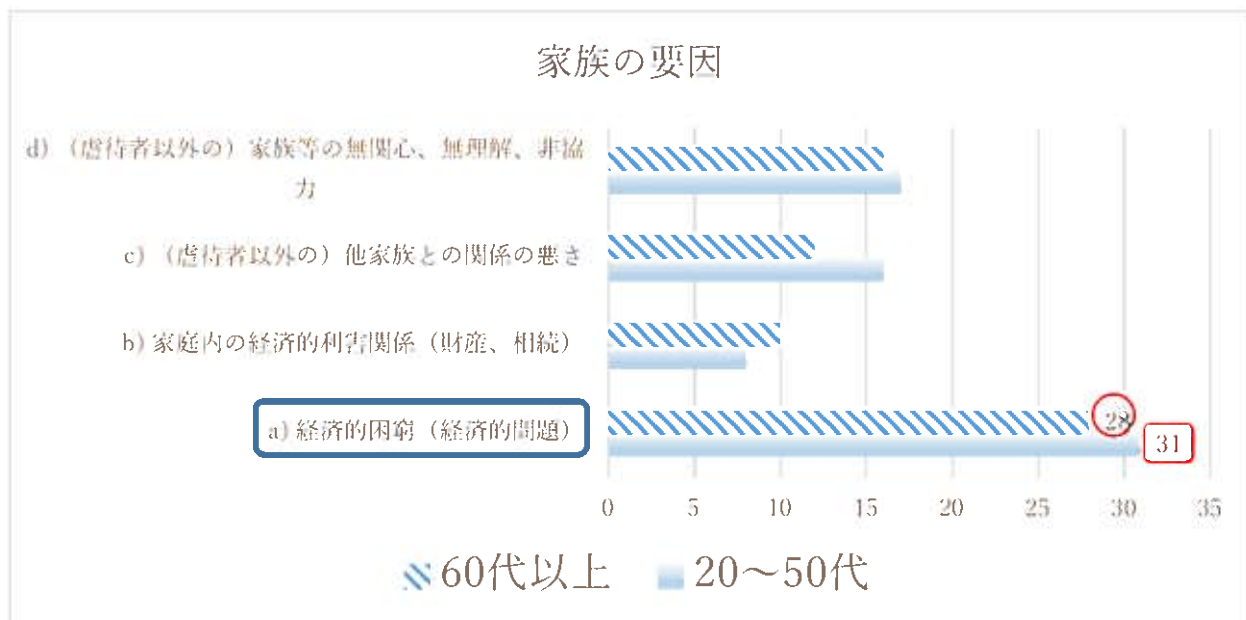
被虐待者側の状況は、虐待者側の全年代を通して、「認知症の症状」が最も多かった。



※調査対象年度に虐待と認定した事例の集計

## (3) 家族の要因

家族の要因は、虐待者側の全年代を通して、「経済的困窮（経済的問題）」が最も多かった。



※調査対象年度に虐待と認定した事例の集計

### 3 高齢者虐待の状況

厚生労働省が公表した「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果で、全国、県及び本市の比較は次のとおり。

#### (1) 養護者による高齢者虐待状況

	年度	H26	H27	H28	H29	H30
全国	認定数	15,739	15,976	16,384	17,078	17,249
	相談・通報件数	25,791	26,688	27,940	30,040	32,231
	高齢者1万人あたりの認定数	4.77	4.71	4.74	4.86	4.85
	高齢者人口 (単位：万人)	3,300	3,392	3,459	3,515	3,558
福岡県	認定数	409	492	495	495	480
	相談・通報件数	747	881	898	896	930
	高齢者1万人あたりの認定数	3.20	3.85	3.79	3.58	3.41
	高齢者人口 (単位：万人)	127.9	127.9	130.5	138.4	140.8
本市	認定数	86	103	111	99	117
	相談・通報件数	151	173	202	187	216
	高齢者1万人あたりの認定数	3.19	3.73	3.94	3.47	4.06
	高齢者人口 (単位：万人)	27.0	27.6	28.2	28.5	28.8

※高齢者人口は、各年の10月1日現在

(2) 養介護施設従事者等による高齢者虐待状況

	年度	H26	H27	H28	H29	H30
全国	虐待認定数	300	408	452	510	621
	相談・通報件数	1,120	1,640	1,723	1,898	2,187
	要介護・要支援認定者 1千人あたりの 虐待認定数	0.05	0.07	0.07	0.08	0.10
	要介護・要支援 認定者数(千人)	5,859	6,077	6,215	6,331	6,437
福岡県	虐待認定数	15	31	26	20	22
	相談・通報件数	32	64	74	71	85
	要介護・要支援認定者 1千人あたりの 虐待認定数	0.06	0.12	0.10	0.08	0.08
	要介護・要支援 認定者数(千人)	241	252	257	262	266
本市	虐待認定数	0	3	10	9	4
	相談・通報件数	7	17	29	32	31
	要介護・要支援認定者 1千人あたりの 虐待認定数	0	0.05	0.16	0.14	0.06
	要介護・要支援 認定者数(千人)	57	60	61	63	65

※要介護・要支援認定者数は、各年の4月末現在

## 令和元年度養介護施設従事者等に対する高齢者虐待防止の取組みについて

### 1 養介護施設従事者等による高齢者虐待（疑）の通報状況

相談・通報件数	28件	
虐待が確認されたもの	4件	
	サービス種別	介護老人福祉施設（3件） 小規模多機能型居宅介護（1件）
	虐待（疑）種別	身体的虐待（2件） 経済的虐待（1件） 介護等放棄（1件）
虐待の判断に至らなかったもの	24件	
	サービス種別	介護老人保健施設（1件） 介護老人福祉施設（5件）※地域密着型含む 特定施設入居者生活介護（1件） 認知症対応型共同生活介護（3件） 有料老人ホーム（7件） 訪問介護（4件） その他（3件）
	虐待（疑）種別	身体的虐待 経済的虐待 心理的虐待 介護等放棄

### 2 養介護施設従事者に対する高齢者虐待防止の取り組み状況（令和元年度）

#### （1）介護サービス従事者研修

##### 権利擁護・高齢者虐待防止に関する研修

研修名	回数	受講者数	講義内容
権利擁護セミナー（基礎編）	2回	82人	・成年後見制度
権利擁護セミナー（応用編）	2回	43人	・成年後見制度を活用した対応方法
身体拘束廃止セミナー	3回	166人	・身体拘束廃止のための方策を学ぶ
高齢者虐待防止セミナー	1回	78人	・高齢者施設における個人の尊厳のための実践
合計	8回	369人	

#### （2）認知症ケアにあたる専門的な研修

研修名	回数	受講者数	講義内容
認知症介護基礎研修	3回	170人	・認知症の理解と対応の基本 ・認知症ケアの実践上の留意点
認知症介護実践者研修等	12回	321人	・介護サービス事業所における指導者や介護実務者を対象に、認知症高齢者の介護に関する知識や技術の習得
合計	15回	491人	

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各研修当初予定回数より1回ずつ減